



## 楽しく会食 話題は許せない政治に“喝” 第1回会議と新年会を兼ね

2月10日、瀬戸市内『千登勢』において、大会(11月28日)以後、コロナ感染者の増加で出来なかった第1回分会会議と、新年会を兼ねて久しぶりに集まりました。

まずは、松原委員長の乾杯の音頭で、ノンアルコールのビールで乾杯し、次々と出てくる料理に舌鼓を打ちながら、近況報告や思い出話に花が咲きました。下記は新年会の写真です。



以前は相談会や組合員の紹介で、組合員が増えた時期がありましたが、最近は、「相談会をしても相談者が来ない」とか「組合員のほとんどが80歳代になり、自分の体さえまならない状態」、「同僚や知人はほとんど亡くなっている」などの現状が報告されました。しかし、電話相談などしていると、「救済されるべき人がまだ取り残されていることを思い知らされます。被害を受けた人達の隅々までお知らせが届くよう協力してほしい」と呼びかけました。

また、以前は1年に一度、家族の方も一緒に緊急時の対応方法や、診断書の見方など学習してきましたが、コロナ流行により学習会を一度もしていません。「やはり学習することは必要!」という声に、コロナ感染者の少ない時に開催を計画することにします。その他、生活できない年金・統一協会・マイナンバーカード・トルコの地震・ロシアのウクライナ侵攻など話は尽きませんでした。

## 「ニュース届くの待ってるよ!」を励みに 分会の歴史を刻んで200号

『愛知分会ニュース』は、2006年7月24日に第1号を発行して、今回で200号となりました。最初は漢字で『愛知』でしたが、親しみやすいように6号からひらがなで『あいち』になり、この号では第3回大会の集合写真を入れ、両面のカラー印刷にしました。

分会会議で組合員に、ニュースについての要望を聞くと、「文字は小さいと読みづらいので大きい字で・・・」とか、「文字ばかりだったら読まないよ」という意見があり、読者は高齢の方々ですので、文字は大きく難しい専門用語はなるべく避けて、分かり易い言葉で短く、写真でみんなの活動がわかるように工夫しました。

また、活動の予定や報告だけでなく『組合員の紹介』『わたしの趣味』、花や景色・ペットの『写真投稿』などで、みんなの交流できる欄も設けました。A4で両面1枚のため殆どの組合員は、毎月ファイルに1枚ずつ入れて保管しておられます。

何よりも「ニュースの届くのを、楽しみに待ってるよ」という言葉に励まされ、休むことなく200号を迎えることができました。今後も、組合員・家族のみなさんの投稿や意見を取り入れ、交流もできるニュースにしていけますのでご協力をお願いします。

これまで2008年・2010年・2012年・2021年には、中央機関紙コンクール優秀賞を受賞しています。



二〇一〇年八月三〇日、中央本部定期大会で、佐藤委員長から賞状を受け取る



## 祝 分会ニュース 200号 松原義弘委員長

『あいち分会ニュース』が、今回 200号となりました。しかし、200号と一言で片づける事はできません。約 17年の長きに渡り、毎月発行して組合員に届けられてきたことは凄いことで頭が下がります。『分会ニュース』を読めば、その時々の方会の活動の歩みを知ることができ、素晴らしい事です。私は組合に加入して 8年程ですので、加入してからのニュースしか読んでいませんが、文面づくりも大変だと感じるとともに、17年間の活動の苦労を垣間見ることができます。

『あいち分会ニュース』は中央本部から、今まで 4回の優秀賞と 1回の努力賞を受賞しており、又他の団体から何回も表彰されています、いかに『ニュース』の中身が充実しているかの証拠です。組合員にとって必要な情報としてなくてはなりません。これからも末永く絶やすことなく発行されることを切に望んでやみません。皆さんも一緒に頑張って応援しましょう。

### コロナに感染 竹内栄造

昨年の 11月にコロナに感染しましたが、1日だけ 37度 8分の熱が出ただけで軽く済みました。

しかし、その後の体調はあまり良くありません。頭を下にすると目がまわったり、耳鳴りが酷く夜も余り眠れません。先日は目まいがあまりにも酷いので、近くの脳神経外科で MRI を撮ったけれど、何も異常はありませんでした。コロナの後遺症かも？とにかく目が覚めると耳鳴り（ジェット機の飛んでいる音）で始まり大変ですが、頭痛は治ったため毎日ゴロゴロしています。



呼吸も前より苦しくなってきたので、1月から酸素療法も行っています。苦しくても頑張りますので、みなさん見捨てないでくださいね！

#### 3月の予定

- 1日 全国労職部会中間会議
- 9日 春闘勝利統一行動
- 11日 県本部第 252 回執行委員会
- 19日 9条改悪 NO！集会
- 28~29日 じん肺根絶訴訟東京地裁第 6 回弁論

## ご案内

※ 分会第2回会議 4月17日(月)  
瀬戸文化センター 32 会議室

## ロシアのウクライナ侵攻から 1 年 政府の「大軍拡・大增税に反対」

ロシアによるウクライナ侵攻が始まって、2月 24日 で 1年になりますが、未だに終わりは見えてきません。プーチン大統領の核脅迫を機に、核使用の新たな危険にも直面しています。その危険を根絶するには核兵器の廃絶しかありません。

そして、日本は唯一の戦争被爆国にふさわしい役割を果たさなければなりません。憲法 9 条を生かした外交を積極的に展開するよう、世界の先頭に立って行動することが強く求められています。

岸田政権は、アメリカの言うままに兵器を爆買いし、全国 300 か所の自衛隊基地の整備などに 5年間で 43 兆円、2023 年だけでも 10 兆円規模で予算を組みます。施設整備の中には地下に指令本部を設置するなど、まさに日本国内が攻撃されることを想定した準備です。

このための財源として、社会保障の総改悪を始め、国民に大きな負担を強いることを決めています。岸田政権は、物価高と貧しい国の補償に苦しむ国民を救うことが先決ではないでしょうか？

この 4月に一斉地方選挙が行われますが、その他のどんな選挙にも投票で有権者の意思を示しましょう！国民が選挙に無関心でいるうちは、政治は変わりません。良くなることはありません。



## トンネルじん肺根絶訴訟東京地裁和解

\* 日時 令和 5 年 3 月 29 日(水)

